

ビクトリーに
37億円協調融資

商工中金岐阜支店など

商工中金岐阜支店は3日、飲料水製造のビクトリー(関市側島、河上宗勝社長)に総額37億円のシンジケートローン(協調融資)を主幹事で取りまとめたを発表した。契約締結は3月29日。

十六銀行と関信用金庫が副幹事を務め、東濃信用金庫、大垣西濃信用金庫、伊予銀行が参加した。調達資金は、ビクトリーの新工場

の建設費用に充てる。ビクトリーは、河上薬品グループの一社で、長良川中流域の水を非加熱ろ過し、栄養成分の豊富なミネラルウォーターを製造販売する。